



パンデミックとどう向き合えばいいのか

こんな学年通信を書くとは、つい最近まで夢にも思いませんでした。新型コロナウイルスの猛威は収束の気配が見えません。感染者数の増大に加え、感染者の責任を追及する動きも一部では加熱し、偏見や差別といった社会の分断が深刻化しています。しかし、この感染症の特徴は、誰ひとり他人の人はいない、誰しも感染の可能性がある自分事だということ。誰も現状から逃れられないならば、感染者を差別するのは結果的に自分を苦しめ、パンデミックの収束を遅らせてしまうのではないのでしょうか。

先日、あるテレビ番組を見ました。2000年以降、野生動物に起因する感染症が多発しています。2002年のSARS、09年新型インフルエンザ、12年MERS、14年エボラ出血熱、16年ジカ熱と。熱帯雨林の破壊や無秩序な都市開発による環境破壊により、人間と野生動物の距離が近づき、新たなウイルスを人間社会に呼び込んでしまうのだそうです。かつて「21世紀は感染症の時代」と指摘した学者もいましたが、あきらかにこれまでの人類史には例のない事態が頻発しています。今回をしのげれば安心、というわけにはいかなさそうです。むしろ、21世紀においては戦争以上に、感染症が人間社会の脅威となる可能性もあります。

休校が3カ月目に突入しました。この間、あなたはどのように過ごしましたか？世の中のために何かできることはないですか？私も格闘しています。自分の授業や実践を見直すきっかけになりました。この時代に歴史から学ぶべき教訓は何だろうか、考えています。先生方も模索しています。勤務も原則在宅で、3日に1回しか学校には行けません。全先生が揃うことはありませんので、意思決定をどうするかなど我々も課題山積です。ただ、悲観してばかりもいられません。今後もこうした事態は起こりうるという前提に立って、私たちはこれまでの生活様式や行動を見直し、落ち着いて判断するとともに、想像力を鍛えねばなりませんね。この際です、学校から知識を与えられるのを待つお客様状態から脱却し、本を読んだり友達と学習会をしてみたり、自分で自分を鍛えるチャンスにしていきませんか。(ざ)

学びを止めないー課題だらけの世の中、今こそ探究せよ！

*生徒会発足

役員選挙もオンライン！前期生徒会が昨日正式に発足！以下谷口君より

スコラ説明会の資料を作っていた皆さん、ありがとうございました。今後、学校説明会について新たな活動を行おうと考えています。今後、執行部6名でできる限りのことを行っていきますのでご協力よろしくお願ひします。

*オンライン勉強会

生徒独自のオンライン勉強会も始まっているようです！先生を呼んで解説してもらったり、友達と教え合ったり。いい雰囲気です！！

休校の延長が決まり、勉強のモチベーションも下がってきた頃、友人からの誘いでZoomを用いた勉強会を行いました。コミュ英や数学などの質問を互いに解決し合うので、勉強の質も上がります。こんな時期だからこそ、自主的な活動を積極的に行える機会の有り難さに気づかされました。(林優希)

*テイクアウト応援プロジェクト！

「附属高校の充実ランチ計画」チームからお知らせです。新型コロナウイルスの影響で、本来学校で販売する予定だった弁当を一足先にビストロ風さまの方で"テイクアウト"という形で提供します！美味しいので、ぜひ！(間口桜之介)

*オンライン・ホームルーム(2C)

家での生活に少し飽きたとき、HRにちょっと入ってみるだけで気分転換になります。最近絵しりとりや人狼ゲームをやりました。他にもその場の思いつきでリモートの環境を楽しんでいます。気軽に来てほしい！(伊藤ひまわり)

*全国の高校生・教員のオンライン学習会(SDGsコース)

興味があれば宮崎までお声がけください！参加できますよ！

SDG s コースに参加して一番感じたことは、対話の機会があると自分の考えや見識が広まることです。また、いろいろな人とつながりやすい社会であることを実感しました。参加するごとに新しいアイデアや考えが浮かんで来たりします。例えば前回は、民主主義の弊害があることを強く感じました。そこにはいるのにどこにも属していないから、支援が届かない、判断決定が遅れる、など。また、このSDG s コースのいい点は先生方が多く参加しているため、大人として、教員としての意見が聞けることだと感じています。(千代航平)